

韓国・消防関係機関との交流について

企画部

危険物保安技術協会は、諸外国の危険物情勢や危険物災害をなくすための取り組みなどの情報共有を目的として、アジア各国の消防関係機関との交流を行っています。

今回、韓国消防産業技術院、韓国消防安全院の視察団がそれぞれ次の日程において当協会を訪れ、技術研修を行いました。

韓国消防産業技術院への技術研修

- 1 日時 令和6年10月31日(木) 10時00分～12時00分
- 2 場所 危険物保安技術協会 第1会議室
- 3 視察団 韓国消防産業技術院 危険物検査部 部長 Kim Jae-Hyun 他2名
- 4 技術研修内容
 - (1) 特定屋外貯蔵タンクの技術基準、検査方法に関する事項
 - (2) 新技術(リチウムイオン蓄電池等)の安全対策、規制緩和に関する事項
 - (3) 地下貯蔵タンクの検査制度、健全性の確認に関する事項

韓国消防産業技術院は、「消防産業振興に関する法律」に基づき設立された韓国政府関係機関であり、危険物タンクなどの検査や危険物の性状判定を行うとともに、消防用設備や防災物品の検査、消防産業技術の研究開発等の業務を行っています。



韓国消防安全院への技術研修

- 1 日 時 令和6年11月22日(金) 14時00分～16時00分
- 2 場 所 危険物保安技術協会 第1会議室
- 3 視察団 韓国消防安全院 理事 Kim Yune-Hee 他10名
- 4 技術研修内容
 - (1) 屋外タンク貯蔵所の技術基準、審査等について
 - (2) 危険物施設等の保安診断について
 - (3) 屋外タンク貯蔵所の泡消火設備の一体的な点検に係る講習会について
 - (4) 単独荷卸しに係る運行管理者研修会について
 - (5) 地震発生時の危険物の仮貯蔵・仮取扱いについて
 - (6) 危険物事故事例セミナーについて
 - (7) 試験確認及び性能評価業務について

韓国消防安全院は、政府傘下の機関であり、危険物施設に係る安全教育や重要建築物等の火災予防安全診断、国民向けの火災予防広報などを行っています。

